



まるお

<道しるべ>

自分を大切にするから、他人にも優しくなれるんだ。

【ルパン3世】に出てくる『次元大介』のことばから

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標（スローガン）>

感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

発行：長崎市立丸尾中学校

文責：校長 川口 猛

令和8年7月17日（金）NO23

目の前に転がっている小さなものばかり拾っていると、 その先の大きなものを拾いそこなう……

私が学級担任をして、パワーいっぱい頑張っていた頃、先輩の先生（学年主任の先生）が、よく生徒たちに話をしていた言葉です。

『目の前に転がっている小さなもの』とは、『別にどうでもいいような、しょうもないこと』という意味です。例えば、次のような光景のことを言います。

○自宅で学習をしていたら、友達と話していた秘密の噂話をSNSに書き込む。

○テスト前だが、町でイベントがあり、つい行ってしまう。

○課題の提出が迫っているのに、目の前のゲームをする。

○人の話を聞いている最中に、どうしても話したくなって話しかける。

○授業中の説明の時間に、つい他のことをやってしまう。

○うそをついてしまう。

○ルールを守らずに、自分のしたいことをする。

○嫌がるとわかることをあえて言葉にする。

○授業の教科の準備物を面倒くさがって時間前に用意しない。

○人をからかったり、無視したりする。

○SNS上にアップされた写真などを勝手に使用・加工してアップする。

上記の○に示す文章は、私たちの人生から考えると、『人生の中で、ぜひともそれをしなきゃいけないの?』と思える『小さいこと』なのです。

『その先の大きなもの』とはどのようなことなのでしょう。それは、私たちの人生を左右するような重大なことだと私は考えます。例えば、3年生になった時の受験や入社試験、結婚とか、大きなビジネスチャンスとか……。大きな宝物と言ったらよいかもしれません。

つまり、どうでもいいような小さなものばかり拾っていると、本当にほしいものを拾おうと思ったときには、腕の中はいっぱい、拾えないという意味です。

このことは、いつも話している、『したくても、してはいけないことはしてはいけない。したくなくても、しなければならぬことはしなければならぬ』という言葉と同じような意味を持っていると思います。きっと上記の○のような行動が普通になってしまうと、『肝心な時に勝負できる資質が育ってなく、チャンスを棒に振る』というわけです。

このような話もあります。優秀な大学を卒業前に、就職試験を受けに行った 2 人の学生いました。面接の前に、トイレに行きました。その時、その学生は、そのトイレを清掃しているご老人を見かけました。トイレをしながら、2人はつぶやきます。『よくやられるよな。トイレ掃除のような仕事。俺だったらやってられないよ・・・このじいさん、いじめだよな・・・』とつぶやき、そのご老人を見下したような態度でトイレを後にしたそうです。

その後、面接になりました。よろしくお願いしますと入室し、顔を上げた瞬間、学生が目にしたのは、先ほどトイレで清掃をしていたご老人の姿でした。その会社の社長だったのです。学生2人がつぶやいた言葉を社長はしっかり聞いていました。社長が、『トイレを掃除するような仕事は汚いかい？私は汚いかい？』と質問をしたそうですが、学生2名とも何も答えることができなかったそうです。面接の結果は、当然不合格です。他人を見た目で判断するような発言で、結局は自分の大きな宝物を手に入れる（入社すること）ことができなかったという話です。

さて、私たちの生活はいかがでしょう。どう一でもいいような小さなものばかり拾った生活を送っていませんか？今一度自分の姿を自分自身で振り返ってみたいものです。

2学期の重点目標の凡事徹底の中に含まれる『挨拶』に係る校内掲示物です。1学期に比べると随分よくなりました。しかし、現状で満足したら、それは後退を意味します。まだまだ改善していくところはたくさんあります。心通う挨拶・挨拶は心のバトンです。『ありがとう』も含めて、日本一の挨拶ができる学校にしていきたいと思います。

挨拶の 6 大行動要領

♡心をつなぐバトン

魔法の言葉

「ありがとう」 笑顔あふれる学校に！

1

いつでも

朝・昼・夕方時間に関係なく！

2

どこでも

教室・廊下・街の中でも！

3

誰にでも

友達・先生・地域の方へ！

4

自分から

相手を待たずに進んで行おう！

5

さわやかに

とびきりの笑顔と開いた心で！

6

元気よく

はっきりと明るい声で届ける！



♡「ありがとう」をプラス
一言の感謝で、もっと温かい輪が広がる！



「ありがとう」のバトンで、最高に温かい学校を創ろう